

# 日高線調査・実証事業の実績報告について

## (1) 公共交通の利用実態・意向調査

実施期間 : 8月中旬～9月中旬  
 調査対象 : 日高線沿線市町村に居住する満18歳以上の男女  
 ※沿線5市町より無作為抽出  
 調査方法 : 郵送調査  
 調査票に掲載のQRコードから回答専用サイトにアクセスし、  
 フォームからも回答可能とした。

## 《沿線市町別回収結果》

市町	配付数	回答数	回収率
苫小牧市	160	38	23.8%
厚真町	160	45	28.1%
むかわ町	480	88	18.3%
不明	—	1	—
計	800	172	21.5%

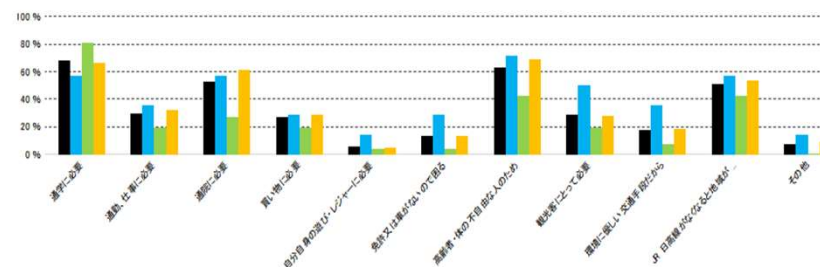
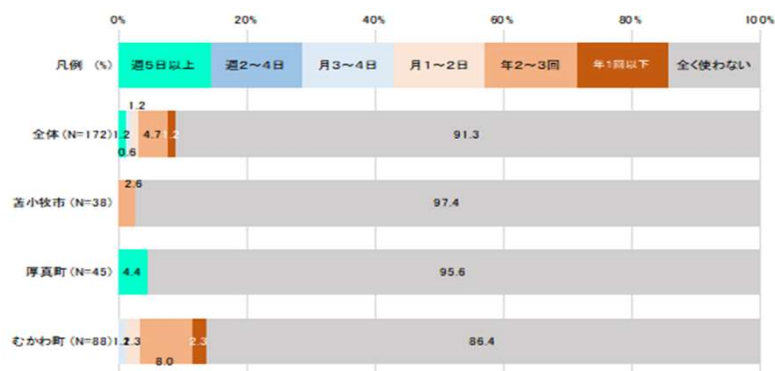
### 【調査項目 報告書より抜粋】

問2：あなたは日ごろ、JR日高線をどのくらい利用していますか？

⇒週5日以上（1%）の利用者は僅少に留まる。  
 その他の利用も年2～3回（5%）がわずかにある程度で、他は1%と低頻度層が中心で、利用者は合計9%となった。

問23①：JR日高線が重要だと思われる理由は何ですか？

⇒61%が重要（とても重要+まあ重要）と答えている。  
 その理由は通学に必要（69%）が最も大きく、高齢者・体の不自由な人のため（63%）、通院に必要（52%）が次いでいる。その他では、JR日高線がなくなると地域がさびれる（51%）との意見も半数を超え、大きい。厚真町では、通学に必要（81%）が8割を超えている。



# 日高線調査・実証事業の実績報告について

## (2) 【室蘭線・日高線連携】観光による鉄道利用促進

### ① 事業実績の概要等について

室蘭線と日高線をつなぎ、回遊性を高めるとともに、観光素材に付加価値を付けた事業展開を行うことにより、観光による鉄道利用促進の可能性を調査。《日高線・室蘭線：苫小牧市、白老町、厚真町、安平町、むかわ町、岩見沢市、栗山町、由仁町》

実施期間：7月29日（土）～9月30日（土）

#### ■実施内容1. 「1日散歩きっぷ路線バス連携事業」

1日散歩きっぷ利用者を対象に沿線路線バスに乗車できる仕組みを構築。  
・連携事業者：道南バス

#### ■実施内容2. 「カードラリー事業」

鉄道利用を前提としたカードラリーを開催し、観光利用の付加価値を高めるとともに、沿線飲食・観光施設等の利用促進の仕組みを構築。

#### ■実施内容3. 「利用者意向調査」

道の駅四季の館（むかわ町）において、カードラリー参加者でプレゼント応募資格者を対象に公共交通の利便性や本企画に関する調査を行い、鉄道利用促進効果について調査を実施。

・アンケート集約件数：38枚

#### ■実施内容4. 「特産品プレゼント」

カードラリー参加者が異なる3種のカードを集め、上記の利用意向調査への協力を条件として、抽選により特産品を進呈。

・プレゼント対象数：29人 ※同一人物からの複数回申込は1回とした。

### 《路線バス乗車実績》

事業者	7月	8月	9月	計	区間
道南バス	0人	7人	17人	24人	苫小牧駅前～鷗川駅前
道南バス	0人	3人	0人	3人	鷗川駅前～穂別出張所
計	0人	10人	17人	27人	

### 《沿線自治体別カード引換枚数》

自治体	苫小牧市	白老町	厚真町	安平町	むかわ町	計
枚数	164枚	77枚	64枚	206枚	91枚	602枚

### 《自治体別特産品内訳》

自治体	苫小牧市	白老町	厚真町	安平町	むかわ町	計
件数	5件	5件	5件	5件	9件	29件

# 日高線調査・実証事業の実績報告について

## ② 国の補助事業における目標の達成状況について

### ■設定目標<1> 路線バスとの連携事業(一日散歩きっぷ誘客目標)

発売日数:7月29日(土)~9月30日(土)の土日祝日の21日間(一日散歩きっぷの発売日数)

捕捉方法:購入者数(期間中道全域で5,293枚の売上)のうち、日高線の利用実績の積算方法について、以下の手法を用いる。

路線バス事業者の乗車実績(前ページ記載)から、以下のとおり推計。1日で回遊することを前提とし、1人あたり2回の利用(往復)があったものとする。

⇒利用実績を2で除し、切り上げカウントする。

道南バス(7月:0人→0人、8月:10人→5人、9月:17人→9人)=計14人

指標	目標値の算出根拠	目標値	実績値	達成状況
1日散歩きっぷ誘客による室蘭線の土日祝日乗客数	25人/日 × 10% × 21日間 ※定期外利用者平均数の10%で設定	52人	14人	未達成

#### 【未達成となった要因】

- ①誘客の軸となる札幌圏での周知不足のほか、日高線車両内や連携するバス事業者の車内での情報発信がなかったことが、影響していると考えられる。
- ②専用ホームページを構築し、各所に掲示のポスターにQRコードを設け、誘導するなど、きめ細かな情報発信が徹底していなかった。

### ■設定目標<2> ご当地カードラリー事業(カードラリーグッズ引換目標)

実施期間:7月29日(土)~9月30日(土)の64日間(当初予定:92日間)

捕捉方法:カード引換場所(四季の館)におけるプレミアムカード引換者数(延数)でカウントすることとしているが、プレゼント応募辞退の方も含め、38人とする。

指標	目標値の算出根拠	目標値	実績値	達成状況
プレミアムカード引換件数	25人/日 × 3% × 64日 ※定期外利用者平均数の3%で設定	48人	38人 重複参加含	未達成

#### 【未達成となった要因】

- ①プレミアムカード進呈者が予想以上に少なかったのは、モデルコースの周知・展開不足が考えられる。
- ②鉄道の特性や優位性を活かした、プレミアム感の高い鉄道グッズの選定、抽選順位による差別化など、参加・リピート意欲を高める内容がなかった。

# 日高線調査・実証事業の実績報告について

## (3) モーダルミックスによる鉄道利用促進

### ① 事業実績の概要等について

JR定期券利用者を対象とした沿線のバスに無料で乗車可能とする取組により、公共交通サービスの利便性向上による利用促進効果の把握及び課題等の検証を実施。

実施期間：7月29日（土）～9月30日（土）の毎日

#### ■実施内容

対象定期券：通勤定期、通学定期

対象区間：道南バス 日高沿岸線 苫小牧駅前～鷗川駅前  
(勇払線を除く)

・バス乗務員による定期客数の人員・区間の集計を実施

### 《利用実績》

事業者	7月	8月	9月	計	区間
道南バス	3人	67人	106人	176人	苫小牧駅前～鷗川駅前

#### ○バスを利用した満足度

・満足42%、まあ満足26%、どちらでもない16%、やや不満5%、不満11%

#### ●満足に影響を与えた要因

・運行時間帯8、社内快適4、バス停位置2、本数1

#### ●不満に影響を与えた要因

・本数2、他交通機関との接続1

### ② 国の補助事業における目標の達成状況について

#### ■設定目標 モーダルミックス事業(利用者数目標)

実施期間:7月29日(土)～9月30日(土)の平日(43日間)

捕捉方法:道南バスによるJR定期券料利用実績(上記表)により捕捉

指標	目標値の算出根拠	目標値	実績値	達成状況
期間中の沿線定期券の利用者数(利用者増分)	187人(R3年度実績(月平均)) × 8% ÷ 14人 14人 × 43日間 = 602人 ※指標については平日日数での設定としている	602人	176人	未達成

#### 【未達成となった要因】

①事業スタート時期が、すでに高等学校夏季休業期間に入っており、1か月程度利用されない期間が生じてしまい、周知等の準備不足が影響を与えた。

②高等学校を通じた情報発信については、学生がどの程度の利便性が得られるか等、具体的な効果を伝えるツール等がなかった。

# 日高線調査・実証事業の実績報告について

## (4) 日高線調査・実証事業の実績報告について

No	概要	業務内容	事業費 (消費税及び地方消費税を含む。)	契約額 または 精算額 (税込)	差分((A)-(B))	備考	会社名	立案番号
1	公共交通の利用実態・意向調査	アンケート調査	1,298,000	1,292,500	5,500		リソー・コミュニケーションズ	第43号
				400	-400	印紙代		
		小計	1,298,000	1,292,900	5,100			
		鉄道・バス共通時刻表	420,200	418,990	1,210	380,900(税抜)+(税)38,090	交通新聞社北海道支社	第33号
				1,176	-1,176	切手代(学校へ提出依頼郵送) @84円/枚×14枚	小口	
	小計	420,200	420,166	34				
	計	1,718,200	1,713,066	5,134				
2	室蘭線・日高線連携の観光による 鉄道利用促進	ご当地カードラリー (カード、宣伝物)	857,587	809,407	48,180	735,825(税抜)+(税)73,582 室蘭線と折半	JR北海道ソリューションズ	第31号
		景品	450,000	83,930	366,070	【税込】 あびら観光協会 15,000 開発ストア 16,330 (JR再送分 1,330 含む) 市原精肉店 12,000 カネタイ大野商店 27,000 蒲原水産 13,600	沿線5店舗	第56号
		アンケート調査 (道の駅あびら+むかわ)	286,000	271,700	14,300	247,000(税抜)+(税)24,700 室蘭線と折半	リソー・コミュニケーションズ	第34号
				100	-100	印紙代、室蘭線と折半		
		小計	286,000	271,800	14,200			
		一日散歩きっぷバス利用	66,000	15,840	50,160	14,400(税抜)+(税)1,440	道南バス	第30号
				200	-200	印紙代		
小計	66,000	16,040	49,960					
計	1,659,587	1,181,177	478,410					
3	モーダルミックスによる 鉄道利用促進	宣伝物 (B2ポスター・チラシ)	185,350	96,937	88,413	B2ポスター 88,125(税抜)+(税)8,812 室蘭線と折半	JR北海道ソリューションズ	第32号
				39,132	-39,132	チラシ 35,575(税抜)+(税)3,557 室蘭線と折半		第45号
		小計	185,350	136,069	49,281			
		定期券バス利用	612,164	116,160	496,004	105,600(税抜)+(税)10,560	道南バス	第30号
		計	797,514	252,229	545,285			
	総計	4,175,301	3,146,472	1,028,829				

## 日高線調査・実証事業の実績報告について

### (5) 負担割合について

- 【調査】 ①公共交通の利用実態・意向調査
- 【実証】 ②室蘭線・日高線連携観光による鉄道利用促進
- 【実証】 ③JR定期券利用者のバス乗車可能な取組

#### ■事業に要する費用

調査事業	1,711,490 円
実証事業	1,180,877 円
実証事業	252,229 円
総事業費	3,144,596 円

#### ■負担割合

国補助 (1/2)  1,572,298 円	道補助 (1/4)  786,149 円
	JR北海道負担 (1/8) 393,074 円
	道鉄道活性化協議会 (1/8) 393,075 円

※補助対象外経費の「印紙代」  
等を除く。